

岩手県自動車整備振興会への物資支援について

～「カーコンビニ倶楽部」、「カーコン車検」のFC店、直営店から集めた整備用工具を提供～
～今回を第1次便とし、今後も継続的に提供していく計画～

カーコンビニ倶楽部株式会社
代表取締役社長 林 成治

自動車軽钣金、車検など自動車向けトータルアフターサービスを提供するカーコンビニ倶楽部株式会社は、社団法人岩手県自動車整備振興会（元持勝利 会長、岩手県紫波郡矢巾町、以下 岩手県自動車整備振興会）の大船渡支部（佐々木昭二 支部長）に、「カーコンビニ倶楽部」、「カーコン車検」のFC店、直営店から集めた整備用工具類を支援物資として提供いたしましたので、お知らせします。整備用工具類の内容は、ダブルアクション（100φ、125φ）、シングルアクション、ストレートの各種サンダー、電動ポリッシャーといったエアツール、赤外線ヒーター、エアジャッキ、ジャッキなど40点、多数のメガネレンチ、ソケットレンチ、スパナ、ドライバーといった工具類などで、岩手県自動車整備振興会を通じて東日本大震災で被災した钣金業者、整備工場に配布されることになっています。

カーコンビニ倶楽部では、東日本大震災の被災地を営業エリアとしている「カーコンビニ倶楽部」、「カーコン車検」のFC店の状況を把握するため、震災後に現地を視察した際、岩手県の「カーコンビニ倶楽部」のFC店であり、岩手県自動車整備振興会の理事から自動車の钣金や整備の作業で使用するツールや工具を失ったり、入手できずに困っている钣金業者、整備工場が多いという話を聞き、全国チェーンの組織であることを活かした支援活動ができると判断、各FC店から中古、新品を問わず、ツールや工具を募り、被災した钣金業者、整備工場に提供することにしました。

具体的には、全国の「カーコンビニ倶楽部」、「カーコン車検」のFC店、直営店に岩手県の同業者の現状を説明して物資による支援を呼びかけ、被災地の钣金業者、整備工場での作業に必要なツール、工具類を集める作業に取り掛かりました。この結果、4月13日時点では、サンダー類が11点、電動ポリッシャー1点、ジャッキ、エアジャッキが各1点、3t用セーフティースタンド（通称ウマ）8点、延長コード（100V・20m/200V・30m）5点、钣金/スライディングハンマー7点、赤外線ヒーター2点、バンパースタンド4点、それと多数のメガネレンチ、ソケットレンチ、スパナ、ドライバーといった工具が集まりました。直営店分の中には、研修用に確保しておいた新品も含まれていますが、集められた整備用工具類は、すべて動作確認を行ったうえで、ツールの部位、種類別と工具に分けて12個に梱包され、岩手県自動車整備振興会と調整してきた時期、場所に支援物資の第1次便として発送されました。

被災地は、自動車が日常生活に欠かせない「足」となっています。その自動車の軽钣金、車検などをビジネスとしているカーコンビニ倶楽部としては、全国の「カーコンビニ倶楽部」、「カーコン車検」のFC店の力を借りながら、1日も早い復興に微力ながら協力するため、今後も継続的に支援物資を提供していくことにしています。

以 上

<集められた整備用工具類>

